

6 監査第 105 号

令和 7 年 1 月 14 日

安曇野市長 太田 寛 様

安曇野市監査委員 川上 則文

安曇野市監査委員 野本 博之

安曇野市監査委員 大竹 啓正

令和 6 年度定期監査の結果報告について

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により、令和 6 年度定期監査を実施したので、その結果について同条第 9 項の規定により提出します。

なお、同条第 14 項の規定に基づき、措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

令和 6 年度

定 期 監 査 報 告 書

安 曇 野 市 監 査 委 員

- (注) 1 表中の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。このため差引額、合計及び比率が一致しない場合があります。
- 2 表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してあります。
- 3 表中に用いるポイントとは、パーセンテージ間の差引数値です。
- 4 表中の符号の用法は次のとおりです。
「－」は本年、前年ともマイナスで、比較ができない箇所です。
- 5 文中の「本年」は「令和6年」、「前年」は「令和5年」を表しています。

第1 実施方針

地方自治法第199条第1項に規定する財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が、同法第2条第14項、第15項及び地方財政法第4条の規定に沿って行われているか検証することを目的に実施しました。

第2 監査の期間

令和6年10月15日から令和7年1月14日までです。

第3 監査の対象及び方法

令和6年度定期監査実施計画に基づき、本年度9月末までの財務に関する事務の執行状況及び経営に係る事業の管理状況について、あらかじめ関係資料の提出を求めました。

監査に当たっては、諸帳簿・書類の審査と併せて関係職員の説明を受け監査を実施しました。また、出先機関へ出向き、施設の管理や財務に関する事務の執行について、実地監査を実施しました。

第4 監査の実施日及び実施部等

実施日	実施部課等	実施場所
10月29日(火)	・豊科公民館 ・明科北認定こども園	現地
11月5日(火)	・農林部及び農業委員会事務局 農政課、耕地林務課 ・商工観光スポーツ部 商工労政課、観光課、スポーツ推進課	市役所 共用会議室 305
11月8日(金)	・市民生活部 地域づくり課、市民課、環境課、移住定住推進課、ゼロカーボン推進課 ・議会事務局 ・都市建設部 建設整備課、維持管理課、都市計画課、建築住宅課 ・福祉部 福祉課、高齢者介護課、障がい者支援課	
11月11日(月)	・教育部 学校教育課、学校給食課、生涯学習課、文化課、子ども家庭支援課、こども園幼稚園課 ・会計課 ・政策部 政策経営課、秘書広報課、行革デジタル推進課、人権共生課 ・上下水道部 経営管理課、上水道課、下水道課	
11月14日(木)	・保健医療部 健康推進課、国保年金課 ・選挙管理委員会事務局、監査委員事務局 ・総務部 総務課、職員課、財政課、税務課、収納課、財産管理課、契約検査課 ・危機管理課	

第5 監査の結果

一般会計予算及び特別会計予算の執行状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

年度 区分		令和5年度（9月末）			令和6年度（9月末）			一般会計 （比較増減） （前年度対比）	特別会計 （比較増減） （前年度対比）	合計 （比較増減） （前年度対比）
		一般会計	特別会計	合計	一般会計	特別会計	合計			
予算現額		50,617	21,850	72,468	53,916	21,511	75,427	3,298	△ 339	2,958
								106.5%	98.4%	104.1%
歳入	中間 執行額	21,897	9,220	31,117	22,035	9,301	31,336	137	80	218
								100.6%	100.9%	100.7%
	執行率	43.3%	42.2%	42.9%	40.9%	43.2%	41.5%	△ 2.4ポイント	1.0ポイント	△ 1.4ポイント
歳出	中間 執行額	20,366	8,609	28,976	21,272	8,603	29,875	905	△ 6	899
								104.4%	99.9%	103.1%
	執行率	40.2%	39.4%	40.0%	39.5%	40.0%	39.6%	△ 0.7ポイント	0.6ポイント	△ 0.4ポイント
歳入歳出 差引残高		1,530	610	2,141	762	697	1,460	△ 767	87	△ 680
								49.8%	114.2%	68.2%

公営企業会計予算（上・下水道会計）の執行状況は以下のとおりです。

【収益的収支執行状況】

(単位：百万円)

区分	年度	令和5年度（9月末）			令和6年度（9月末）			上水道 （比較増減） （前年度対比）	下水道 （比較増減） （前年度対比）	合計 （比較増減） （前年度対比）
		上水道	下水道	合計	上水道	下水道	合計			
予算現額	収入	2,292	4,212	6,504	2,287	3,751	6,038	△ 4	△ 460	△ 465
	支出	1,990	3,681	5,672	2,067	3,725	5,793	77	43	121
収入	中 間	1,000	2,512	3,513	997	2,088	3,085	△ 3	△ 424	△ 427
	執行額							99.6%	83.1%	87.8%
	執行率							△ 0.1%	△ 3.9%	△ 2.9%
支出	中 間	385	764	1,149	424	772	1,197	39	7	47
	執行額							110.2%	101.0%	104.1%
	執行率							1.1%	△ 0.1%	0.4%
収益的収支 差引残高		615	1,747	2,363	572	1,315	1,888	△ 43	△ 432	△ 475
								93.0%	75.3%	79.9%

【資本的収支執行状況】

(単位：百万円)

区分	年度	令和5年度（9月末）			令和6年度（9月末）			上水道 （比較増減） （前年度対比）	下水道 （比較増減） （前年度対比）	合計 （比較増減） （前年度対比）
		上水道	下水道	合計	上水道	下水道	合計			
予算現額	収入	170	1,794	1,965	240	2,071	2,311	70	276	346
	支出	1,636	3,360	4,996	1,878	3,643	5,522	242	283	525
収入	中 間	116	600	717	49	303	352	△ 67	△ 296	△ 364
	執行額							42.0%	50.6%	49.2%
	執行率							△ 48.1%	△ 18.8%	△ 21.2%
支出	中 間	900	1,562	2,462	1,170	1,861	3,031	269	298	568
	執行額							130.0%	119.1%	123.1%
	執行率							7.3%	4.6%	5.6%
資本的収支 差引残高		△ 783	△ 961	△ 1,745	△ 1,121	△ 1,557	△ 2,678	△ 337	△ 595	△ 933
								—	—	—

本年度9月末までの予算の執行状況及び事務事業は、実施した監査の範囲内において、おおむね適正な状況にあるといえます。

なお、今後の行財政運営にあたっては、限られた財源を有効に活用し、健全財政の維持向上に努めるよう要望します。

実地監査の状況、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理に関する個別の要望及び意見は以下のとおりです。

また、軽微な誤謬等については監査実施時にそれぞれ部局等へ口頭により指示をしました。

1 実地監査の状況について

(1) 豊科公民館（教育部 生涯学習課）

ア 現金の管理について

- ・ 業務中の現金は据置型金庫で保管・管理し、業務終了後は同金庫に鍵と暗証番号で施錠し保管していました。
- ・ 金庫の鍵は適切な保管場所で管理していました。
- ・ 職員と委託管理者及び委託管理者同士での引継ぎでは金種別現金残高の確認を行っていました。
- ・ 施設の利用料等は、マニュアル通り週2回（火・金曜日）本庁で入金していました。

イ レジスターの取扱いについて

- ・ 公民館の使用料は、受け取った際窓口に着てあるレジスターに登録しています。調定手続はレジスターから出力される合計票^(注)に基づき行っていますが、この合計票に印字される連番が欠番となっているものが散見されました。

これは、途中又は一日の最後の確認の前に検算目的で出力したものを破棄し、一日の最後に確認したもののみを保管していることによるとの説明でした。

合計票が連番管理されていることで、公民館で受け取った使用料が漏れなく調定されていることの証拠となるため、検算のための出力であってもその合計票は記録として残し、欠番が生じないように整理してください。

なお、使用実績と使用料の整合性については、関係帳簿（使用申請書、税外収入整理簿、予約管理簿）等を検証して確認できました。

（注）合計票：特に決められた名称はありませんが、ここでは、収入の合計額確認のために出力される帳票のことを言います。合計票を出力する都度連番が印字されます。

ウ 備品管理について

- ・ 備品シールが貼付されており、備品台帳も定期的に確認していました。

エ その他

- ・ 火災及び地震を想定した避難訓練を年 1 回実施していました。
- ・ 出退勤は IC カードで認証するシステムにより管理していました。

(2) 明科北認定こども園（教育部 こども園幼稚園課）

ア 現金の管理について

- ・ 突発的な長時間保育に係る保育料は、受領した日のうちに明科支所に納入していました。
- ・ 金庫の鍵は適切な保管場所で管理していました。

イ 備品管理について

- ・ 備品シールが貼付されており、備品台帳も定期的に確認していました。

ウ その他

- ・ 火災、地震、水害、不審者のいずれかを想定した避難訓練を月 1 回実施していました。
- ・ 出退勤は QR コードで認証する保育業務支援システム「コドモン」により管理していました。
- ・ 刺股（さすまた）は適切な場所で管理・保管していました。
- ・ タクシー券は鍵のかかる場所で適正に管理していました。

2 総括的な指摘・意見について

(1) 公用車の購入について

安曇野市は令和 5 年 3 月に行った「安曇野ゼロカーボンシティ宣言」のなかで、「化石燃料に頼らない交通手段を選択し、環境負荷の少ない持続可能な暮らしに転換する」旨を表明しており、今年度は環境配慮型車両であるハイブリッド車を 1 台導入しています。今後も令和 6 年 10 月に策定した「安曇野市職員ゼロカーボン行動計画」に沿って、EV 等の環境配慮型車両及び充電設備の充実を併せて検討するよう要望します。

(2) レジスターの取扱いについて

「1 実地監査の状況について」の「(1) 豊科公民館」でも挙げていますが、レジスターは他の部局でも使用している施設がありますので、前述のとおり合計票の連番管理については、その取扱いに注意してください。

(3) 予算の未執行の状況について

歳出執行状況一覧を確認したところ、未執行が散見されました。

物品購入等については支出の効果が通年に亘って享受できるよう早期発注に努めてください。また、工事については早めの設計発注を行い、余裕のある施工となるように工程管理を行い、業務の平準化に努めてください。

3 各部課等に対する指摘・意見について

【危機管理課】

- ・ 業務内容と契約期間等が近似する複数の業務について一括発注ができないか引き続き精査し、事務負担の軽減に努めてください。

【総務部】

(1) 総務課

- ・ 内部統制について、今後、各部局においてリスク予防策の進捗状況を確認し、総括的な評価を実施する旨の説明がありました。内部統制においては、これらのセルフチェックに加え、独立した評価部門からの検証・評価が重要になります。客観的な検証・評価を行うことで、より効率的かつ効果的な制度となるよう努めてください。

【政策部】

(1) 政策経営課

- ・ デマンド交通「あづみん」の予約システムにおいて、一時的に他者の予約情報が閲覧可能な状態となり、予約者以外の者により予約が取り消されたと推定される事案が発生しました。原因は、メンテナンスプログラムの不具合によるものと伺いました。
市民が当サービスを常に安心して利用できるようにするため、事業委託先に対する指導・監督態勢を充実させてください。

【市民生活部】

(1) 地域づくり課

- ・ 安曇野市まちづくりイベント事業補助金交付要綱では、各地域の補助対象事業に対する補助金の額を「対象事業費の3分の1」を基本としていますが、市長が特に必要と認めた場合は予算の範囲内としており、実際にこの特別枠が適用された事業がありました。

事業の規模、人口や参加者、安全対策費、資金等について研究し、できるだけ公平性に差が生じないように留意してください。

(2) 環境課

- ・ 業務内容と契約期間等が近似する業務について一括発注ができないか引き続き精査し、事務負担の軽減に努めてください。

(3) ゼロカーボン推進課

- ・ 「2 総括的な指摘、意見について」の「(1) 公用車の購入について」でも挙げていますが、「安曇野ゼロカーボンシティ宣言」及び「安曇野市職員ゼロカーボン行動計画」については、積極的に情報を発信し、宣言・計画が実行されるよう関係部局へ働き掛けてください。

【農林部】

(1) 農政課

- ・ 三郷堆肥センターが閉鎖となり、今後は畜産農家が自己処理を行うことになります。それに伴い堆肥の利用率低下が懸念されるため、堆肥利用者と畜産農家のマッチングを検討していると伺いました。需要と供給のバランスが取れ、堆肥の有効活用ができる施策を検討していただきますよう要望します。